

自治会活性化に関する条例の検討について（案）

1. 条例の基本的な考え方について

○高齢化や単身世帯の増加等の社会情勢の変化を背景に、自治会加入率は徐々に低下し、地域の相互扶助の関係が弱まりつつある。自治会が果たしている役割や重要性を再認識する契機とするため、自治会や市民の主体性及び自立性は確保しつつ、各主体の役割等を規定した理念的な条例を目指すもの。

2. 条例の方向性について

（1）自治会の位置づけの明確化

○自治会は、市民同士の絆づくりや相互扶助による地域の課題解決、防犯灯設置・維持管理等による地域防犯など、地域コミュニティにおいて重要な役割を担ってきており、地域コミュニティの中心的組織としての位置づけを明確にするもの。

（2）自治会への加入及び活動参加の促進

○自治会が果たしている役割や重要性に対する市民の理解を深め、市民の自主的な自治会への加入及び活動参加を促進し、自治会活性化を図るもの。

（3）自治会活動の継承

○自治会の重要性に鑑み、自治会活動が持続的に継承されていくためにも、若い世代が自治会活動の担い手となっていく環境づくりを推進するもの。

（4）各主体の責務の明確化

○自治会への加入及び活動参加の促進に当たっての、自治会、市民、行政等の各主体の責務を明確にするもの。

3. 条例に盛り込む事項について

（1）条例の目的

○自治会への加入及び活動参加の促進に関する基本理念を定め、自治会、市民、市等の各主体の責務を明確にすることにより、各主体が相互扶助による地域社会の形成に寄与し、自治会活動を次の世代に継承していくことを目的とするもの。

(2) 条例の基本理念

- 自治会への加入及び活動参加の促進に関する基本理念を定めるもの。
 - ・まちづくりにおける自治会の重要性に関する認識の共有
 - ・自治会への自主的な加入及び自治会活動への主体的な参加の必要性に関する認識の共有

(3) 各主体の責務

①自治会の責務

- ・市民が加入及び参加しやすい開かれた団体運営
- ・民主的な団体運営
- ・会員に対する祭事等への寄付の強要禁止
- ・事業内容及び経理の明確化
- ・市民への情報提供
- ・市民への自治会加入及び活動参加の働きかけ
- ・自治会活動の中心となる役員等の人材育成
- ・子ども会等の育成による次世代へ自治会活動を継承する環境づくり

②校区自治会及び区自治連合会の責務

- ・自治会の取り組みへの必要な支援
- ・自治会活動の中心となる役員等の人材育成
- ・民主的な団体運営

③市民の責務

- ・自治会への加入
- ・自治会活動の費用負担
- ・自治会活動への参加
- ・近隣住民への自治会加入及び活動参加の働きかけ

④事業者の責務

- ・自治会への加入
- ・自治会活動への参加及び協力
- ・従業員への自治会加入の働きかけ

⑤集合住宅供給事業者の責務

- ・居住者への自治会加入の働きかけ
- ・自治会による加入促進活動への協力（自治会への情報提供等）

⑥市の責務

- ・各主体の取り組みへの必要な支援
- ・自治会活動促進施策への必要な財政措置
- ・自治会の主体性を損なう業務委託及び労務提供依頼等の禁止

⑦学校設置者の責務

- ・児童・生徒及び保護者、教職員への自治会活動の啓発